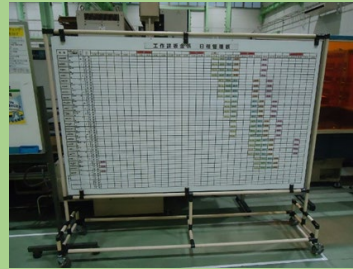


# 三友エレクトリック株式会社 「生産性改善のためのリアルタイムデータ集計システムの構築」

■ネットワーク対応していない板金加工機が多く進捗管理、加工時間・稼働状況把握は人の手に頼っていたため、生産性改善の取組みが停滞していた。今回、作業者に専用端末を付与し、板金加工専用の生産管理システムを導入することで、オーダー毎や部品1点毎の進捗も見える化が出来た。さらに作業リードタイム等も自動計測することで生産性改善の基礎データの収集が可能となった。

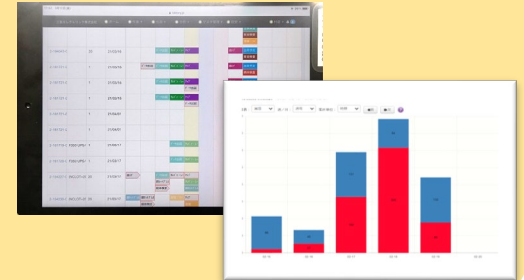
## 従来

ホワイトボードで進捗管理



## 今回

専用端末やPCで進捗確認可能



作業者毎の作業状況が見える化

## 成果

- ・従来のホワイトボードでは、生産順番変更や納期変動、追加注文の管理が困難であったが、今回の事業で、100種類以上の量産品、個別生産品、イレギュラー品の状況把握ができ、オーダー全体や部品1点毎の作業進捗までもリアルタイムで見えるようになった。
- ・端末画面でのアラート表示で、イレギュラーな工程順番の場合でも、工程飛ばし等のミスを防止できるようになった。
- ・工程ごとの作業データから実作業時間やリードタイムを算出し各作業者の出来高が見えるようになり、生産性改善の基礎データが収集できるようになった。

## 今後の展望

- ・今回の取組みで作業者がワークを加工している時間（直接作業時間）の記録を取ることができるようになった。今後は金型準備時間等の付帯作業についても記録出来るようにして作業のムダ等の見える化を図り、生産性向上に繋げていく。
- ・現状は、紙図面に板金制作時の消込チェック、検査記録の消込チェックを行っている。今後は端末から電子化した図面を呼び出し製作記録、検査記録を入力し、電子データとして保管する。  
⇒電子図庫導入により完全ペーパーレス化を目指す